



夢・いっぱい

第12号

令和5年2月24日

2022年度の経営方針

今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

校長 栗林 孝幸

一緒に

立春が過ぎ、少し過ごしやすいい日が増えてきました。しかし、三寒四温とまだまだ寒い日もあります。体調に気をつけて過ごしたいですね。



さて、年が明けあつという間に2月も半ばを過ぎ、もうすぐ3月、今年度も終わりが近づいてきました。子どもたちも今年度のまとめと来年度に向けての準備をがんばっています。

先日、第3回の学校運営協議会が開催され、学校評価アンケートをもとに話し合いが行われました。今回は特に子どもの読書について意見交換がなされました。「本をよく読んでいますか？」の問いに、子どもと教員の7割が肯定的回答、保護者の約5割が肯定的回答と認識に少し開きがありました。自分で積極的に読書している子どももちろんいますが、学校では週一回の朝読書、また図書室に行く時間があり、本に触れる機会があるためだと思われます。

小説や伝記、歴史や文化、絵本など、本の世界は無限で自由です。そんな当たり前のことに気がついたのは最近です。これまでたくさんの言葉や文章、本に救われました。もっと早くに出会っていたら・・・、と思うこともあって、若い先生方には求めがあればおすすめの本を紹介しています。同じ本を読んだ者同士が感じたことを語り合うことは、喜びに満ち、絆を強めると感じています。より深く相手を理解することもできます。どんな本でもかまわないのですが、親子で同じ本を読むのはいかがでしょうか。一緒に読むのもいいですね。そして、その本のことについて語り合う。その時間は一生の宝になります。

「一緒に」でもう一つ、山口県の児童生徒の体力が落ちているということがわかりました。岩国市においても全国平均と比べて、持久力は高いのですが柔軟性、筋力が劣っています。コロナ禍が影響していることは明らかですが、全国と比べても下がり方が大きいのです。そこで、学校では県

教委が出している「柔軟性向上運動」を体育の準備体操として行います。また、家庭でも柔軟性や筋力を向上させるような運動を行えるようにしていきたいと思っています。毎日楽しみながら継続していくことが大切です。そこで、親子で一緒に運動して見られてはいかがでしょうか。きっと子どもたちは喜ぶと思います。是非よろしく願いいたします。

